

【プール清掃に取り組む高学年の児童の様子を見て思うこと】

5月13日に5年生、6年生がプール清掃を行いました。前々日までは緑色の濁った水を蓄えていたプールが5・6年生の4時間の奮闘できれいなプールになりました。

今回のプール清掃だけでなく、日ごろから5・6年生は長尾小学校の高学年として頑張っています。体育集会や音楽集会など全校児童が集まる場面では、整列や歌う姿勢などすべてにわたって、他の学年の見本となるように行動をしています。



5・6年生を指導する先生方の児童への評価はきびしいものがあります。当然、他の学年の見本としてふさわしい行動については十分にほめますが、期待した行動がでないときにはやり直しもさせます。また、たとえば6年生が期待した行動ができないときには、5年生に見本を示させるときもあります。6年生にとってはショックなことです。

高学年の児童は、自分の行動をしっかりと自己評価をできる力が育っています。自分でも頑張ったところをほめられればうれしいと感じるでしょうが、自分では納得していないことをほめられても素直に喜べないと思います。そのような発達段階を踏まえた指導を学校ではおこなっています。

低学年では、よい行動が習慣化するようにほめることを中心に子供たちにかかわります。そして、学年が進むにつれて自分の行動を見直してどうであったかを考えさせるなどしながら正しく自己の行動を評価できる力を培っていけるように指導しています。

5・6年生の児童の様子を見ていると、高学年として他の学年の見本として長尾小学校を引っているなど実感できる多くの場面があります。

児童がそれぞれの学級の授業の中で、一人一人の実態に応じて教科等の知識・理解を習得するとともに、各種集会や学年行事、学校行事等の望ましい集団活動を通して、集団参加能力や自己統制力を培っていきます。また、それらの活動を通して、それぞれの発達段階で期待されていることを感じ、社会性を身につけていきます。

それぞれのご家庭でも、子供のよいところをほめるとともに、それぞれの学年としてふさわしい行動なのかを基準に、子供自身に行動を振りかえさせたり、一緒に行動を見つめ直したりしてみてください。そのことで、子供のよさを再認識できるものと思います。

第2号では、平成23年度の長尾小学校の学校教育目標や目指す児童像など「学校経営方針」を掲載しました。今回は「指導の重点や具体的な実践」について掲載します

指導の重点と具体的実践

(1) 「豊かな人間性」の育成

- 福祉体験活動やボランティア活動等の計画的実践と情操教育の推進……奉仕活動、栽培活動、尾瀬学校、自然宿泊体験、車椅子体験、アイマスク体験、春日園訪問、JRC活動、緑の少年団活動、学校支援隊交流活動……等
- 「心のノート」の活用と体験的活動を生かした道徳教育と人権教育の推進
- 「ルールブック50」の活用と基本的生活習慣の確立及び規範意識の高揚

(2) 「基礎学力」の定着と向上

- NRT学力テストの分析による授業改善及び指導法改善と調査の効果的活用
- 算数、国語における少人数指導やTT指導によるきめ細かな指導の工夫と実践
- 週時程表の工夫による補充的な学習や発展的な学習及び朝の読書活動の充実
- 「家庭学習の手引き」活用による家庭学習の充実と基本的学習習慣の定着

(3) 「心身の健康」の充実

- 「心身ともにたくましい児童」を育てる健康安全指導の充実
- 「早寝、早起き、朝ごはん」の徹底と家の手伝いの奨励及び健康教育の充実
- 「保健室」や「教育相談室」等の機能の充実と効果的活用
- 「スポーツ健康元気アップ事業」の継承と改善及び体力向上施策の工夫と推進

(4) 特色ある教育課程の編成と実施

- マイタウンT等の効果的活用によるきめ細かな指導の充実
- 新学習指導要領に基づいた各教科・領域の年間指導計画による指導の実践・評価等
- 「総合的な学習」「道徳」「特別活動」「外国語活動」の充実

(5) 「生徒指導」の推進と児童と教師の「信頼関係」の確立

- 職員会議や職員朝会での的確な情報交換による問題等の早期発見と早期解決
- 師弟同行の精神で「温かさ」と「厳しさ」による、認め・励ます場の充実
- 授業中における積極的な生徒指導の推進と児童と教師の信頼関係の確立

(6) 「特別支援教育」の充実

- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会やケース会議等の充実と計画的な支援の実施
- 「通級指導教室」の充実と活用及び地域の学校支援のためのセンター的機能の確立
- 保護者の思いを十分に聴き取りながら、自立を促す就学指導の推進
- 特別支援教育支援員の活用と支援を必要とする児童への支援体制の整備
- 交流及び共同学習（校内、居住地校交流）の充実

(7) 「開かれた学校」づくりの推進

- 授業、学校行事等の積極的な公開と家庭訪問、教育相談等の効果的な活用
- 学校関係者評価、児童と保護者アンケート、自己評価等による学校評価の充実
- 学校評議員、学校支援隊等の人材活用の充実と安全な学校づくりの推進
- 学校HPや学校、学年、学級、保健安全等の各種通信による積極的な情報発信

(8) 「勤労生産・奉仕的活動」の推進

- 特別活動に位置づけた全校体制による勤労生産・奉仕的活動の充実
- 児童会活動に位置づけた勤労生産・奉仕的活動の工夫と改善
- 学校支援隊等との交流活動の工夫と充実……野菜・コンニャク・サツマイモ植、栽培活動、お焼き作り、琴教室等

(9) 「学校経営」への全教職員による参画体制づくりの推進

- 使命感と情熱を持ち、「全ては子どものために」を指針とした教育活動の推進
- 危機管理マニュアルに基づいた意識の高揚と安全な生活環境及び学習環境整備
- 新しい人事評価制度の推進による参画体制の構築及び効率的な校務運営組織の編成

(10) 「教職員研修」の充実

- ICT活用による学習指導の工夫改善を目指した校内研修の計画的推進
- 教師力、授業力の向上を目指し、一人一研究授業の実践と授業改善の推進
- 児童、保護者、地域の信頼に応える「プロの教師集団」の形成